

マウリッツ・ドールマンズ クリアリー・ゴットリーブ法律事務所パートナー弁護士



マウリッツ・ドールマンズは、EU、オランダ、英国および国際競争法について、特に、先端技術、知的財産、サステナビリティに関連する領域を専門としています。1985年にクリアリー・ゴットリーブ法律事務所に入所し、1994年にパートナーに就任しました。

彼は、情報技術、インターネット、電気通信、メディア、エネルギー、金融サービスの分野で豊富な経験を有しています。欧州委員会および欧州裁判所、EU加盟国の国内裁判所および競争当局、ICCおよびNAIでの仲裁に関与しています。

競争法に関する案件の多くは、マルチサイドプラットフォーム、先端技術製品、ニューエコノミーサービス、ライセンスまたはライセンス拒否、標準化、IP戦略、ネットワークへのアクセス、合併、ジョイントベンチャーその他の取引、知的財産の仲裁・訴訟、支配的地位の濫用、垂直的協調、カルテルに関するものです。

彼は、サステナビリティと競争法に関連する数多くの事例や取引について助言し、関与してきました。サステナビリティと競争政策に関する様々な講演や論文、書籍を執筆し、OECDや欧州委員会をはじめとするサステナビリティと競争に関する会議に内容領域専門家として招待されています。また、欧州グリーンディールやイノベーションなど、その他のサステナビリティに関するイニシアチブについてのアドバイスも行っています。